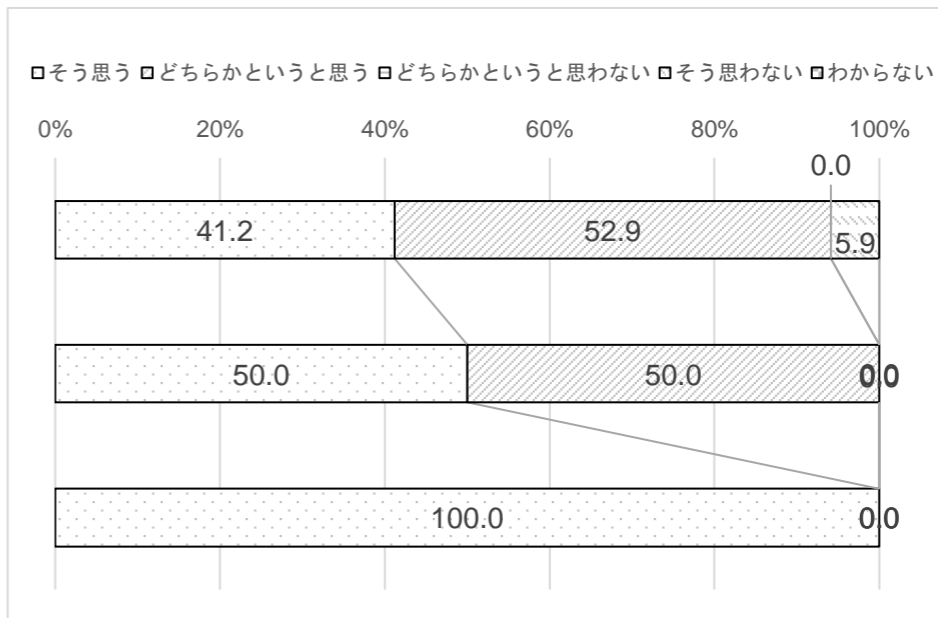
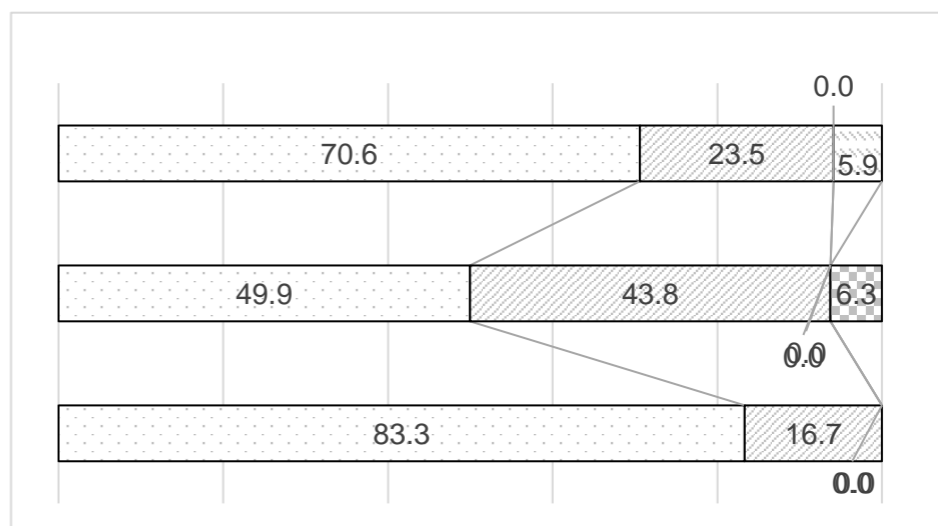


令和6年度(前期) 学校評価アンケート回答(児童・保護者・教職員)

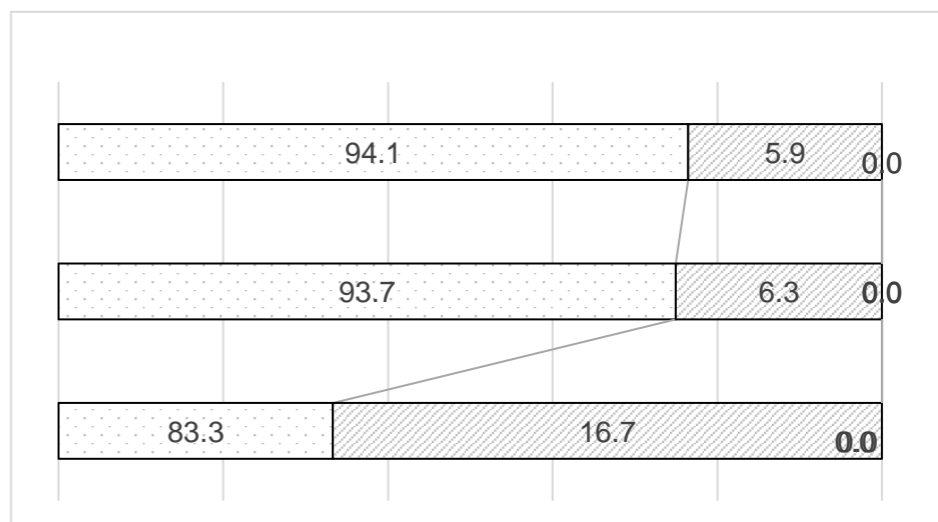
対象	質問事項	そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	そう思わない	わからない
児童	1. 学習の中で「分かった・できた・たのしい」と思う。	41.2	52.9	0.0	5.9	
保護者	1. 学校は、児童が「わかる・できる・楽しい」を実感できる授業を工夫している。	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
教職員	1. 教職員は、児童が「わかる・できる・楽しい」を実感できる授業を工夫している。	100.0	0.0	0.0	0.0	



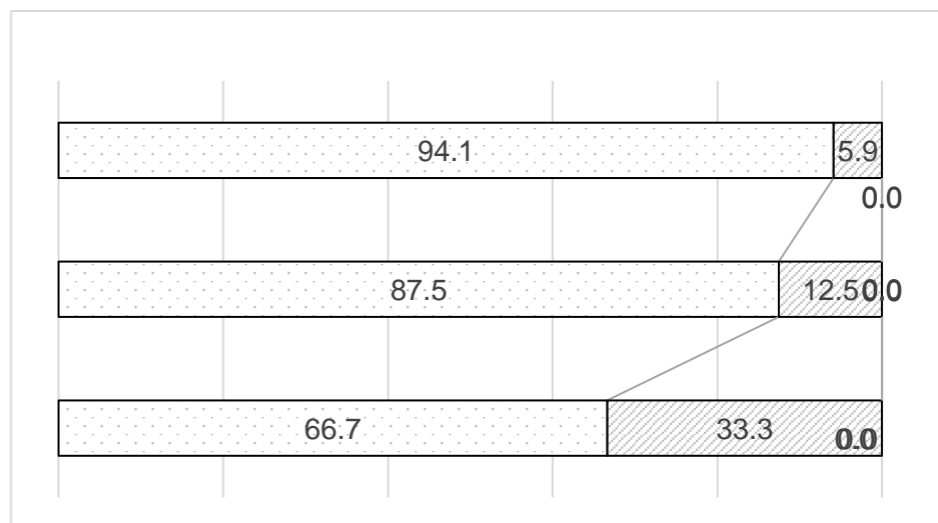
児童	2. 学習がよくわかる・できるようにするために、ICT(タブレット・大型テレビ)をすずんで使っている。	70.6	23.5	0.0	5.9	
保護者	2. 児童は個別最適な学びを目指し、ICTを積極的に活用している。(授業・練習問題・コグトレ等)	49.9	43.8	0.0	0.0	6.3
教職員	2. 教職員は個別最適な学習を目指して、ICTを積極的に活用している。(授業・練習問題・コグトレ等)	83.3	16.7	0.0	0.0	



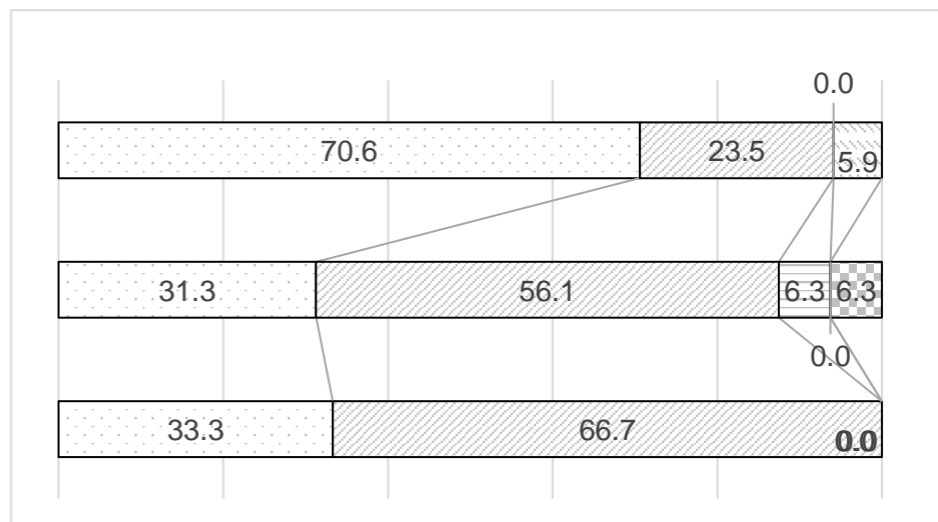
児童	3. 地域(ちいき)について学んだり、体験したりする活動をいっしょけんめいにとりくむことができた。(米作り・ザックザック隊・ふるさと教室・英語など)	94.1	5.9	0.0	0.0	
保護者	3. 学校は、地域について学んだり体験したりする活動を積極的におこなっている。(米作り・ザックザック隊・ふるさと教室・英語など)	93.7	6.3	0.0	0.0	0.0
教職員	3. 教職員は、地域について学んだり体験したりする活動を積極的におこなっている。(米作り・ザックザック隊・ふるさと教室・英語など)	83.3	16.7	0.0	0.0	



児童	4. 保護者や地域(ちいき)の方々と一緒に行う体験活動(たいけんかつどう)は、とても楽しく勉強になると思う。(米作り、ザックザック隊、チャレンジプラン、英語、ふるさと教室)	94.1	5.9	0.0	0.0	
保護者	4. 保護者や地域の方々と一緒に行う体験活動は、お子様の豊かな心を育てることに役立っている。(米作り、ザックザック隊、チャレンジプラン、英語、ふるさと教室)	87.5	12.5	0.0	0.0	0.0
教職員	4. 保護者や地域の方々と一緒に行う体験活動は、児童の豊かな心を育てることに役立っている。(米作り、ザックザック隊、チャレンジプラン、英語、ふるさと教室)	66.7	33.3	0.0	0.0	

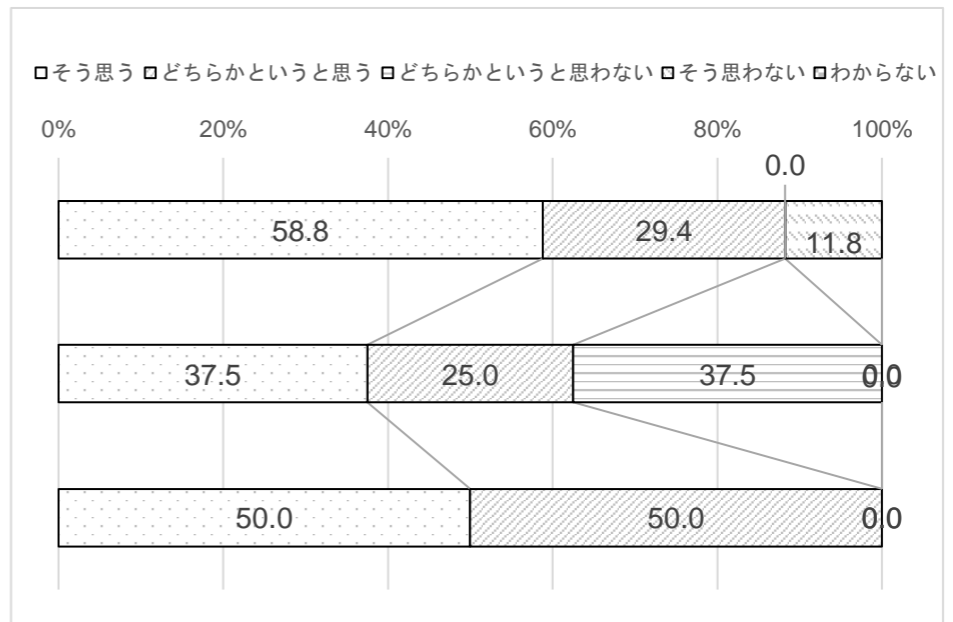


児童	5. SDGs(持続可能な社会づくり)について考え、生活に生かそうとしている。(体験活動・食の指導等)	70.6	23.5	0.0	5.9	
保護者	5. 学校は、SDGs(持続可能な社会づくり)について考え・実践する活動を積極的に進めている。(体験活動や食の指導)	31.3	56.1	6.3	0.0	6.3
教職員	5. 教職員は、SDGs(持続可能な社会づくり)について考え・実践する活動を積極的に進めている。(体験活動、食の指導)	33.3	66.7	0.0	0.0	

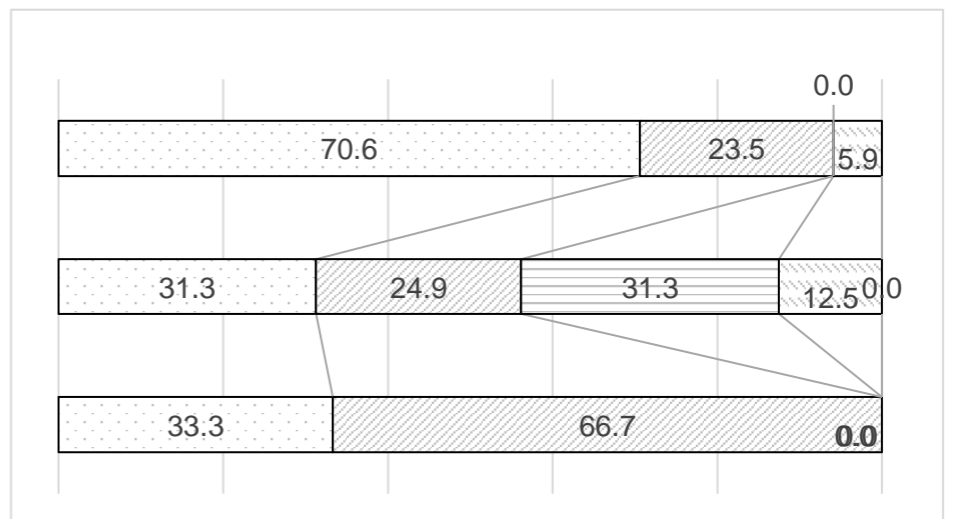


令和6年度(前期) 学校評価アンケート回答(児童・保護者・教職員)

対象	質問事項	そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	そう思わない	わからない
児童	6. 進んで読書を行っている。 (年間50冊以上を目標)	58.8	29.4	0.0	11.8	
教職員	6. お子様は、進んで読書を行っている。 (年間50冊以上を目標)	37.5	25.0	37.5	0.0	0.0
教職員	6. 児童は、進んで読書を行っている。 (年間50冊以上を目標)	50.0	50.0	0.0	0.0	



児童	7. 家庭学習は、自分で学習することを決めて取り組んでいる。	70.6	23.5	0.0	5.9	
保護者	7. お子様は、家庭学習において、自分で取り組む学習を決める等工夫している。	31.3	24.9	31.3	12.5	0.0
教職員	7. 児童は、自分で取り組む学習を決める等工夫して家庭学習をしている。	33.3	66.7	0.0	0.0	



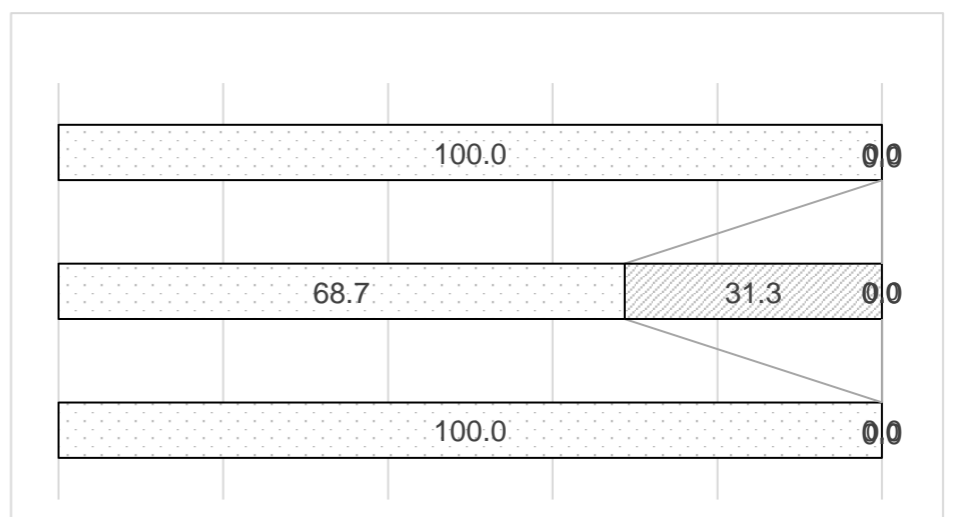
児童	8. 学校生活が楽しい。	52.9	35.3	5.9	5.9	
保護者	8. お子様は、学校生活を楽しいと感じている。	74.9	12.5	0.0	6.3	6.3
教職員	8. 児童は、学校生活を楽しいと感じている。	66.7	33.3	0.0	0.0	



児童	9. 道徳の時間は、友だちの考えを聞いたり、自分の考えをもったりすることができる。	64.7	23.5	5.9	5.9	
保護者	9. 学校は、学校行事や道徳の授業などを通じて、豊かな心の育成に努めている。	56.1	31.3	6.3	0.0	6.3
教職員	9. 教職員は、学校行事や道徳の授業などを通じて、豊かな心の育成に努めている。	66.7	33.3	0.0	0.0	

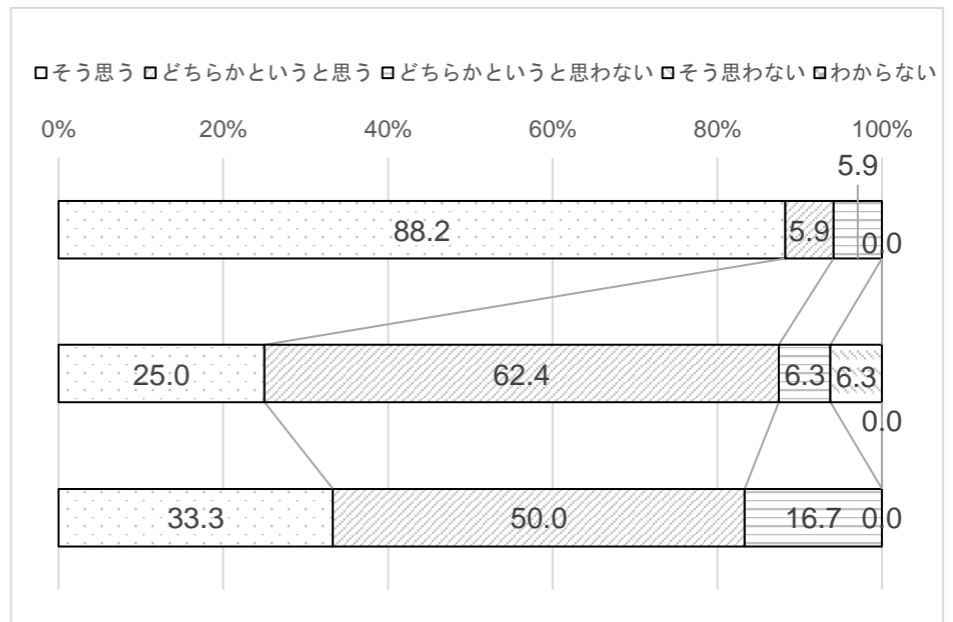


児童	10. 友達と仲良く生活している。	100.0	0.0	0.0	0.0	
保護者	10. お子様は、友達と仲良く生活している。	68.7	31.3	0.0	0.0	0.0
教職員	10. 児童は、友達と仲良く生活している。	100.0	0.0	0.0	0.0	

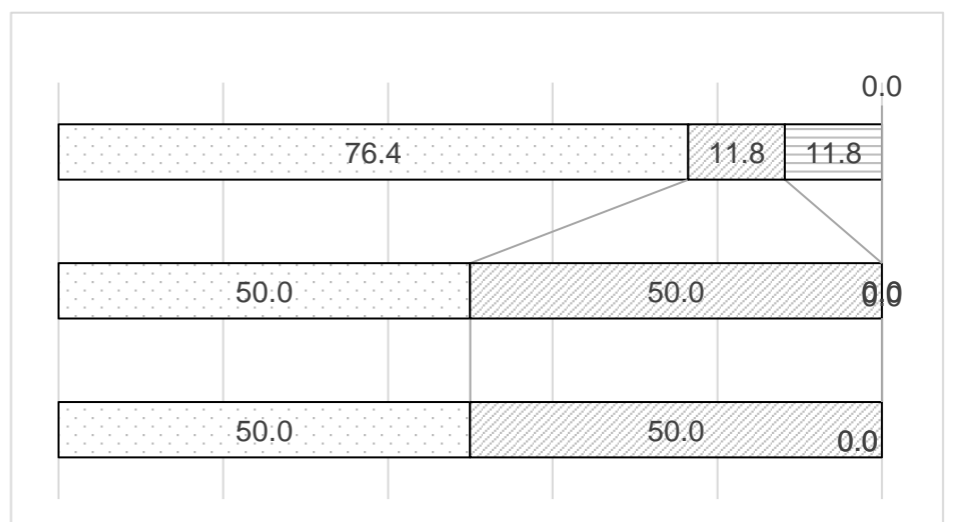


令和6年度(前期) 学校評価アンケート回答 (児童・保護者・教職員)

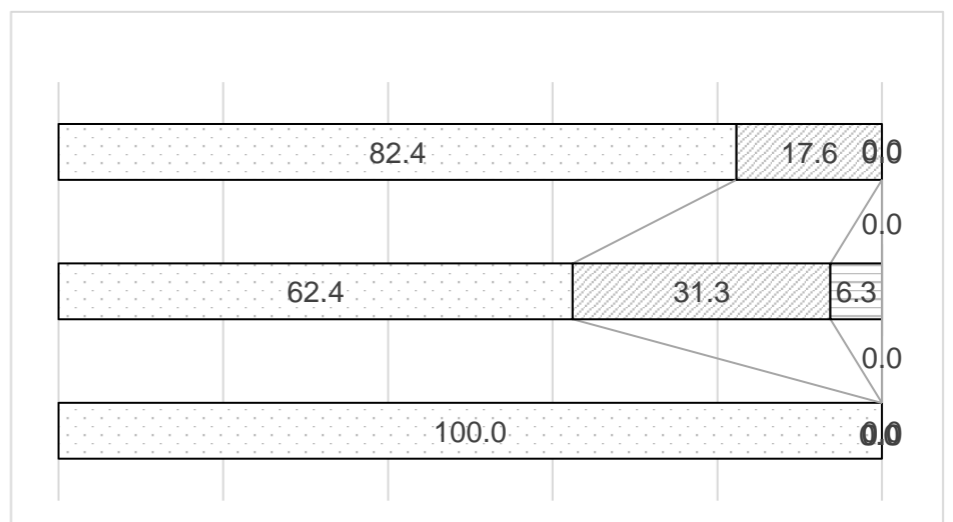
対象	質問事項	そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	そう思わない	わからない
児童	1 1. あいさつや返事、ていねいな言葉遣い(ことばづか)いができる。	88.2	5.9	5.9	0.0	
保護者	1 1. お子様は、あいさつや返事、ていねいな言葉遣いができる。	25.0	62.4	6.3	6.3	0.0
教職員	1 1. 児童は、あいさつや返事、ていねいな言葉遣いができる。	33.3	50.0	16.7	0.0	



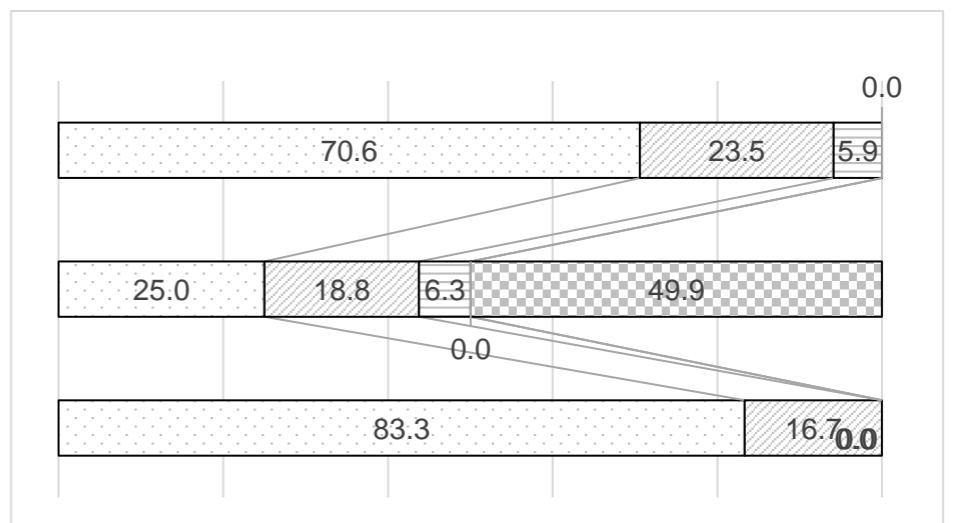
児童	1 2. 外遊びや体育の授業などを通じて、すすんで体力をつけている。	76.4	11.8	11.8	0.0	
保護者	1 2. 学校は、体育の授業や外遊びなどを通じて、お子様の体力向上に努めている。	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
教職員	1 2. 教職員は、外遊びや体育の授業などを通じて、児童の体力向上に努めている。	50.0	50.0	0.0	0.0	



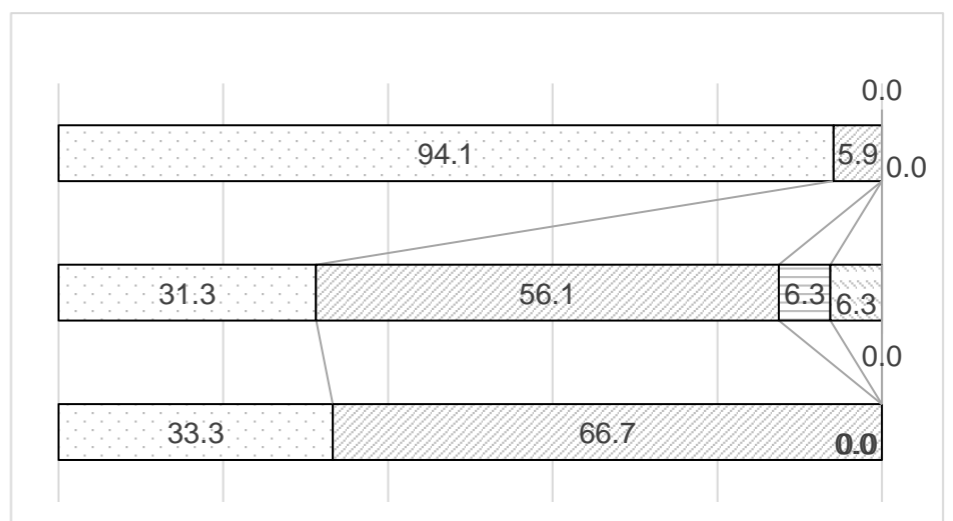
児童	1 3. 毎日、健康で安全・安心な生活ができるようにしている。	82.4	17.6	0.0	0.0	
保護者	1 3. 学校は、給食指導や保健指導、登下校の安全指導、避難訓練などを通じて、健康で安全・安心な生活ができるように努めている。	62.4	31.3	6.3	0.0	0.0
教職員	1 3. 教職員は、給食指導や保健指導、登下校の安全指導、避難訓練などを通じて、健康で安全・安心な生活ができるように努めている。	100.0	0.0	0.0	0.0	



児童	1 4. 清掃の時間におしゃべりをしない(黙動)で取り組んでいる。	70.6	23.5	5.9	0.0	
保護者	1 4. お子様は、清掃の時間におしゃべりをしない(黙動)で取り組んでいる。	25.0	18.8	6.3	0.0	49.9
教職員	1 4. 児童は、清掃の時間におしゃべりをしない(黙動)で取り組んでいる。	83.3	16.7	0.0	0.0	



児童	1 5. 「早寝・早起き・朝ごはん」を意識して生活している。	94.1	5.9	0.0	0.0	
保護者	1 5. お子様は、「早寝・早起き・朝ごはん」を意識して生活することができている。	31.3	56.1	6.3	6.3	0.0
教職員	1 5. 児童は、「早寝・早起き・朝ごはん」を意識して生活することができている。	33.3	66.7	0.0	0.0	



【アンケートの結果から】

- 項目1、2、3、4、10、13については、「そう思う」・「どちらかというと思う」の合計が90%以上に達しています。児童の様子並びに学校の教育活動に関して肯定的な評価をしていただいたと受けとめました。
- 特に項目3、4については、石岡交流会の方々をはじめ地域の方の協力のもと児童・保護者・教師が体験活動等の充実感や達成感を感じることができていると認識できました。
- 項目6の「読書」については、保護者の評価として、家庭でも進んで読むことへの期待と受け止めました。学校では朝読書そして毎週水曜日の4時間目を、1年生から4年生までの図書時間としています。毎回、図書の先生による読み聞かせやブックトーク等を実施し、読書への興味・関心につなげています。個人のパワーアップカードに読んだ本の書名を書き溜めていますので、家庭での会話の参考になさってください。高学年も、朝読書や国語の時間に熱心に読書する姿が見られます。読解力は、読書量に比例すると共に、全ての教科を底上げする大きな礎となります。本年度も「読書冊数50冊」を達成し年度末に県からの賞状をいただくことを目指します。
- 項目7「家庭学習は、自分で学習することを決めて取り組む」については、本年度から決められた課題ではなく、自分で決めた課題に取り組むことに変更しました。そのため、保護者の方にとっては、もう一息学習への意気込みがほしいところだと受け止めます。「自分に必要な学習は何か」を考えたり「自分で決めて取り組む力」は未来を生き抜く大切な力となります。学校でも、子供たちのニーズに合わせた声をかけをしていきます。ご家庭でも温かな励ましをお願いします。
- 項目11「挨拶や返事、ていねいな言葉遣い」項目15「早寝・早起き・朝ごはん」については、児童は9割程度達成できていると感じています。しかし、保護者や教師はもう一步の努力を期待しています。学校では、道徳科等の学習の中でも自らの行動を振り返らせ、実践につなげていきます。特にあいさつは、学校の先生だけでなく、保護者、地域の方やお客様にも進んでできるように意識付けしていきます。

【学校教育の更なる充実に向けて】

- 児童一人一人のよさを認め励まし、主体的に活動する児童を育てます。
- 道徳の授業や体験活動等を軸として、学校教育活動全体を通して思いやりのある心豊かな児童を育てます。
- 家庭との連携を一層深め、よりよい生活習慣の確立や主体的で継続的な体力づくりの展開、充実した読書活動に努めます。
- 学校・家庭・地域が協働し、一人一人の児童に寄り添った関わりと登下校を含めた安全・安心な生活環境づくりに継続して努めます。